

百ます問題について：「基本編」「組み合わせ編」共用 その1

百ます問題（小学校編）とは

割り算を除いて、どんなに桁数の多い計算でも、分解すれば一つ一つの計算はすべて百ます計算に行き着きます。知識や技能も同じで、どんな難問でも分解していくと基本の組み合わせになります。

学年が進んでいくと、たいていの問題は基本知識や技能がいくつか組み合わさってあります。それらのどれかが欠けていると解けない、分からなくなります。新たに学ぶ単元も、新しい知識や技術はせいぜい20%ぐらいしかありません。今まで学んできた土台(80%)がしっかりしていないと授業が分からないし、問題が解けないのです。(*1)

その土台を鍛えるための問題が、百ます問題です。

百ます問題は、新しい単元を理解するための知識や技能を
・「忘れていた」のなら思い出すため ・「知識はある」が使いこなせない ・「基本問題は解ける」のに
応用問題が苦手な生徒のためのトレーニングプリントです。

百ます問題の目的

「基本編」の目的は中学数学へスムーズに移行するための基本知識・技能です。いわば橋渡し役です。ストレスなく、よどみなくできるのが理想です。

「組み合わせ編」の目的は算数という科目を通して「賢くなる」ことです。ただし、これだけで賢くなるわけではありません。どの教科にも、あなたを賢くしてくれる部分があって、算数で得られるのとはまた別の能力です。

賢くなれば、賢くなった頭で多くのことを学べます。

賢くなれば、広い視野で多くのことを学べます。

賢くなれば、あらゆる世界に通じることができます。

賢くなれば、.....

これぐらいにしておきましょう。きりがありません。「組み合わせ編」は賢くなるための一里塚です。

百ます問題の使い方 使い方はシンプルです。やるべきことは2つだけです。

できる範囲は全てやります。例えば5年生ならば、3年生から5年生までの範囲をします。

1週間、1か月と、日をおいて何度も繰り返します。

何度も繰り返すよりは、いろいろな問題にあたる方がよいのではないか、と考えるかもしれませんが、そうではありません。

繰り返しすることによって

- ・短期記憶から長期記憶になる。
- ・自分の言葉で考え、覚えるようになる。
- ・新しい発見がある。
- ・間違いが分かる。
- ・等々

「繰り返し」は漢方薬の十薬(十の薬効がある)のようなものです。

百ます問題の見本があります。「基本編・小学校」と「基本の組み合わせ編・小学校」の1ページ目各学年分5ページずつあります。ダウンロードして試してください。

(実際に子どもが算数・数学の能力を伸ばしていく要因は知識や技術だけではありません。もし興味があれば、<http://www.gakuryokuotasuke.com> を見てください)